

2014年6月3日

各位

東京都千代田区大手町二丁目6番3号



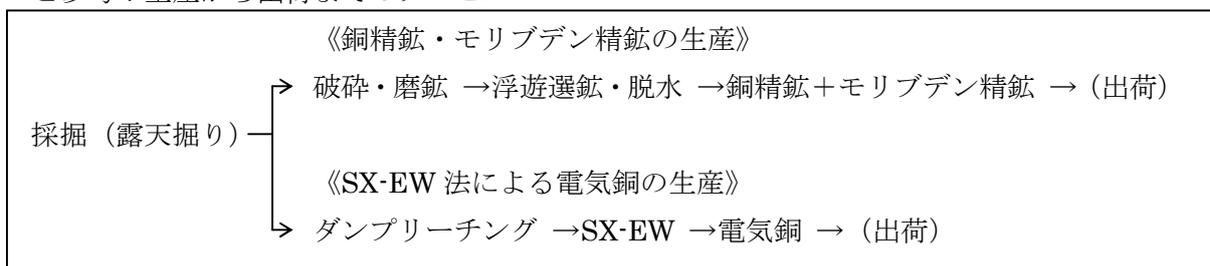
### チリ国「カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト」における 銅精鉱生産の開始について

パンパシフィック・銅株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目、社長：足立吉正、以下「PPC」）は、かねて推進しているチリ国「カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト」（以下「本プロジェクト」）において、磨鉱・浮遊選鉱等の鉱石処理設備の負荷試運転を実施しておりましたが、現地時間の5月31日に鉱石処理量および精鉱生産量を徐々に増加させるランプアップに移行し、銅精鉱の生産を開始いたしました。

本プロジェクトは、SX-EW法による電気銅と、磨鉱・浮遊選鉱等の鉱石処理設備による精鉱の2種類の生産ラインを保有しております。SX-EW法については昨年3月に最初の電気銅を採取し、以後順調に稼働しています。今般の鉱石処理設備のランプアップ移行により電気銅、銅精鉱双方の生産体制が整いました。

PPCは、引き続き本プロジェクトの円滑な推進を図ってまいります。

ご参考：生産から出荷までのプロセス



以上

お問い合わせ先：パンパシフィック・銅株式会社 総務部 東森

TEL：03-5299-7403

(全景写真)

